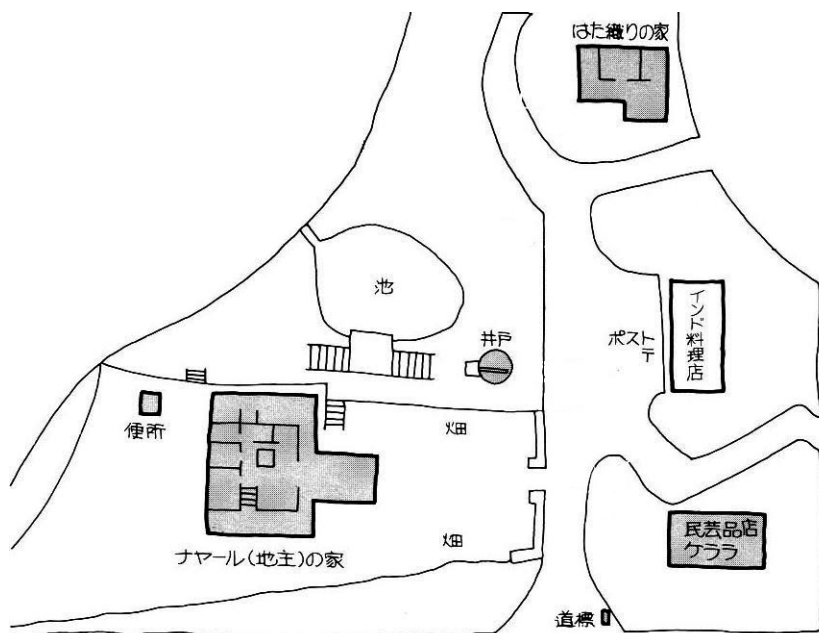


インド ケララ 州^{しゅう} の村

ここでは南インド、ケララ州のココヤシやバナナなど緑があふれる美しい水田村^{すいでん}をモデルに、上級階層^{かいそう}（カースト）の家を中心に復元^{ふくげん}しています。

熱帯^{ねったい}モンスーン気候^{きこう}のこの地の年平均気温は 27℃、もっとも気温が低い月でも 26℃もあります。また雨量は、年間 3700mm もあり、リトルワールドが復元している家屋の中で、もっとも雨の多い土地の家です。



【ナヤール（地主）^{じぬし}の家^{いえ}の壁^{かべ}】

この家の壁はラテライトと呼ばれる素材でできています。ラテライトとは、土の鉄分が酸化^{さんか}してできた熱帯^{あかつち}の赤土のことで、とても固いために建築材料として使われます。

民族衣装：サリーは1枚の布地

サリーは、インドやネパール、パキスタンなど南アジア地域の女性が着用する民族衣装です。実際、畑で働く女性や都会のOLなど、多くの女性が着ています。布の一端を肩にかけ、裾を地面すれすれにして歩く姿はとても優雅です。

サリーは長さ6m程度、幅 1.2mほどの一枚布。縫い合わせていないという点が大きな特徴で、素材は絹や木綿、化学繊維などです。もっとも高価なのは絹で、晴れ着や結婚式などの儀礼の衣装とされ、木綿製のサリーは値段が安く、普段着とされます。模様は、縞、チェック、唐草、花などさまざまです。刺繍、手描き、木版プリント、かすり、絞りなどの技法でつくられます。

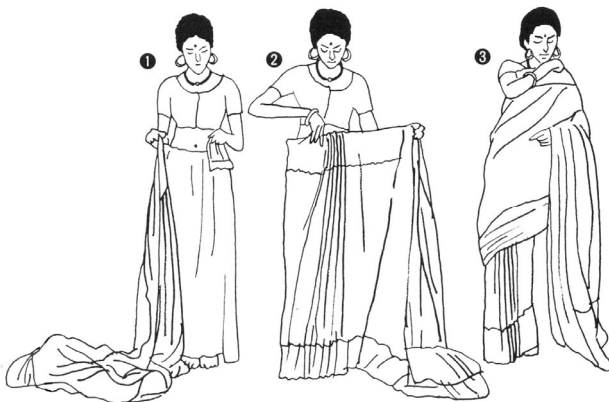
サリーは体形に関係なく選びやすいため、しばしば贈答品に用いられ、^{ちょうぼう}「重宝」されます。そのため、女性は数十枚のサリーを持っていることが一般的なことです。

【サリーの着方】

① 布の端を右腰のペチコートにはさんで止め、前から後ろへ回す。

② 右手でプリーツを7回ほどとり、ペチコート前面にはさみこむ。

③ 残った布を再び後ろへ回し、胸から肩にかけて後ろへ垂らす。



サリーは、すそを垂らしてくるぶしを隠す点が重要で、逆におなかやおへそは露出させてもかまいません。